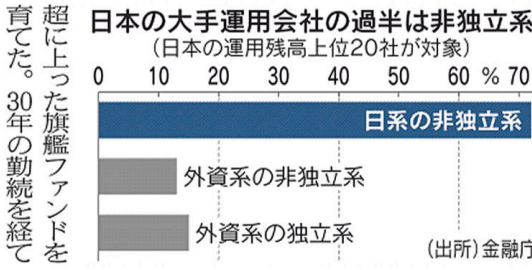


# 資産運用立国 に挑む

開国の障壁④

野村アセットマネジメン  
ト出身の高柳健太郎氏は2  
021年、独立系運用会社  
の日本橋バリュートナ  
ーズを立ち上げた。野村で  
は20年以上日本株のバリュ  
ー(割安)株運用を手掛け、  
ピーク時には9000億円

## 「成績より流行」のツケ



超に上った旗艦ファンドを  
育てた。30年の勤続を経て

# 長期投資がプロ育てる

起業したのは、20年に米国  
の大手投資家から言われた  
一言がきっかけだった。

独立ししないと考えた」と  
いう。日本の運用業界では長  
らく、親会社である大手の銀  
行や証券会社売りやすい

### 親会社の力強く

「『ケイレツ』の運用会  
社には投資しない」。大手  
の系列だと親会社の力が強  
く、顧客の利害と相反する  
点を的確に指摘された。実  
績豊富で優れた手腕があっ  
ても、サラリーマン運用者  
である限り米国では相手に  
されない。「世界に通用す  
る運用品質を実現するには  
資産運用残高の上位20社の

### リンチ氏の功績

1977年から13年間担  
当し、年率で約30%の上昇  
という驚異的な成績を残し  
た。根底にあったのが成長  
株への長期投資だ。ファイデ  
リティによると、100世  
帯に1世帯がマゼランに投  
資したことがあるとされる  
ほどの人気だった。

長期投資を尊重する風土  
は今も息づく。例えば、米  
資産運用大手キャピタル・  
グループ。多くの運用会社  
は1年ごとの成績を評価の  
軸に据えがちだが、キャピ  
タルは「8年間」の成績に  
重きを置く。目先のテーマ  
を追わざるをえない日本の  
運用会社とは一線を画す。

もともと、日本でも変革  
の芽は育ちつつある。  
野村アセットは海外資産  
の自社運用を本格化してい  
る。コストの観点から外国  
企業に丸投げするのが業界  
の通例だが、小池広靖社長  
は「海外投資家から選ばれ  
る運用力を身につけたい」と語る。足元では外国株フ  
ォンドが世界最大級の機関  
投資家、年金積立金管理運  
用独立行政法人(GPIF)  
だけ増やせるかが大きな課  
題となる。

(関連記事9面に)